授業つくり研修講座　実践レポート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　座間市立南中学校　氏名　森田　恵理子

単元名　第２学年　　鑑賞授業　ゴッホ　「種まく人」

実践のポイント　（工夫）

・色々な視点から作品と向き合い、対話して、新たな魅力の発見を楽しみながら、鑑賞を深めていく。

　自分なりに考えたことを述べることができているか、色々な視点で分析したりして、自分の受け止

め方や考えを明確にして書く。

・他者の考えをふまえて鑑賞し、自分なりの価値観を持たせる。

実践内容

|  |
| --- |
| 1. ゴッホ「種まく人」を鑑賞する。

（　個人ワークシートで　）1. 心を止めた場面などを言葉にする。

（　例題などを伝え考えやすいように）1. それはなぜなのか、理由を探ってみる

　　　　1. 作者の思いを推測し、自分の思いや考えを持つ。

（　ワークシートの順でおって考え、探究していけるよう見て回り助言をする　）1. 作品から気づいたことや作者の意図などを話し合う。（意見交流）

　　　　（　少人数３～４人　）1. 他者の意見をふまえ、新たな発見によって作品の見方を深める。

　　　　（　他者の発表を聞き自分の考えを深める） |

振り返り（成果や課題）

・美術の授業での鑑賞時間をとることが難しく、なかなかじっくり取り組めていない。今回は１年生の

　国語の教科書に手伝ってもらい、「鑑賞文」という学習を違う角度から取り入れることができた。

　このつながりによって。「鑑賞」に対してのハードルが少し低くなった様子だった。感じることや、おも

いはあるが、言葉にして表現することに躊躇している生徒は多く、そのおもいを吸い上げる言葉かけも

重要である。「なるほど！」という生徒表情をみられるよう個に応じた言葉かけが難しいところである。

・国語の教科書の鑑賞ページは入りとしては良い手応えでしたが、読み入ってしまう生徒もいたので鑑賞

作品を開い多ときには、閉じさせたほうがよいと感じた。

・「論理的な文章を書く力を高める授業」美術の授業では取り組む時間が短いが、意識して文章表現してい

　く機会を意図的に設定していきたい。